



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ

文部科学記者会

科学記者会

御中

令和3年9月29日

岡山大学

岡山大学病院で全国に先駆けて遺伝性骨・軟部腫瘍の専門外来を開設

◆発表のポイント

- 全国に先駆けて遺伝性の骨・軟部腫瘍の患者さんを診療する専門外来を開設しました。
- 疾患に関する適切な情報を提供し、遺伝カウンセリングにより患者様だけでなくご家族の健康管理を行いたいと考えています。
- SDGs の目標であるがんの早期発見・早期治療を目指しており、よりよい社会の実現に貢献したいと考えています。

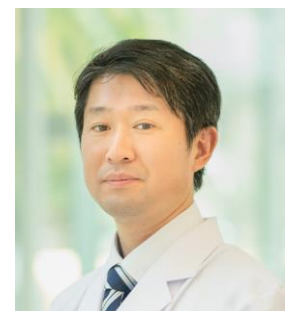
悪性骨・軟部腫瘍の一部は遺伝が原因で、遺伝性骨・軟部腫瘍と呼び、神経線維腫症1型やリフラウメニ症候群などの疾患があります。これらの疾患の患者さんは、出生時より悪性骨・軟部腫瘍をはじめ様々ながんに罹患する割合が通常より高くなります。しかし、日本国内では体系的な診療体制が確立されていません。

岡山大学病院整形外科（尾崎敏文教授）の中田英二講師らは、2021年9月6日に遺伝性骨・軟部腫瘍の患者さんの診療を専門とした遺伝性骨・軟部腫瘍外来を全国で初めて開設しました。本外来では、骨・軟部腫瘍を専門とする医師と認定遺伝カウンセラーにより、患者さんとその家族に疾患に関する適切な情報を提供します。また、血縁者の方々に遺伝カウンセリングを行うことで家族全体の健康管理が行えるようにします。さらに、医療費助成制度などの社会支援が円滑に受けられるようサポートします。患者さんの症状に応じて、複数の診療科による診察も行います。

当外来により、がんの早期診断・早期治療が行えるようになれば、がんでお亡くなりになるリスクが低減することも期待されます。

◆担当医からのひとこと

遺伝性骨・軟部腫瘍の方は、子供の頃から様々ながんに罹患する可能性が高くなります。この専門外来では、患者さんにご家族に疾患について適切に説明を行い、健康管理ができるようサポートしたいと考えています。



中田講師



PRESS RELEASE

■発表内容

【遺伝性骨・軟部腫瘍】

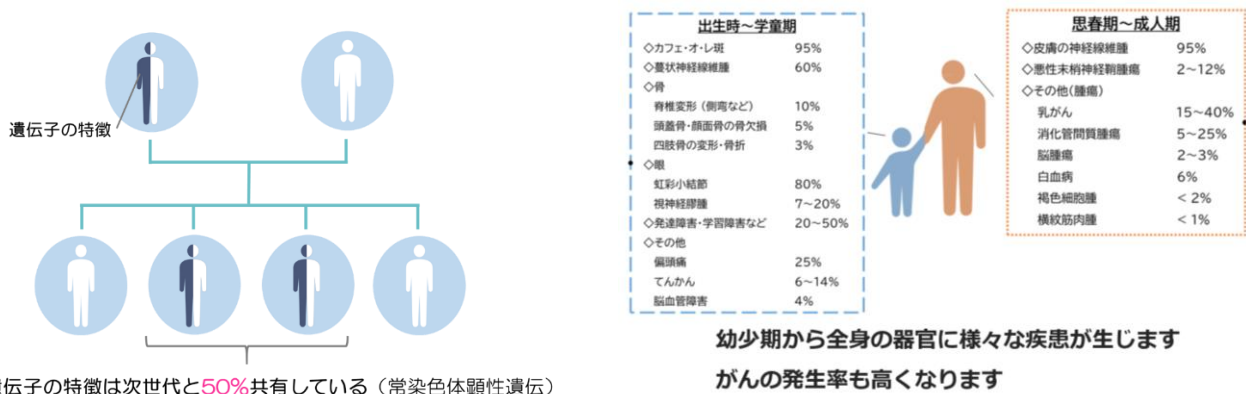
悪性腫瘍(がん)の約 5%は遺伝子が原因です。がんの一種である悪性骨・軟部腫瘍(肉腫)は、手や足だけでなく、胸部や腹部など様々な場所に生じます。一部の肉腫も遺伝が原因であることが判明しています。代表的な疾患として、**神経線維腫症 1 型**、**リフラウメニ症候群**、**網膜芽細胞腫**などが挙げられます。これらの疾患の患者さんは出生時から骨肉腫や悪性末梢神経鞘腫瘍などの肉腫をはじめ様々ながん罹患する割合が通常より高くなります。

患者さんとご家族には、以下のことについて聞きたいと考えている方がおられます。

- ① がんの遺伝は家族全員が持っているのでしょうか？
- ② どのような疾患がいつから出現するのでしょうか？
- ③ 社会的なサポートは受けられるのでしょうか？

海外の診療ガイドラインでは定期的に専門的な診察を受けたり検査を行うことが推奨されています。しかし、日本国内においては十分な診療体制が確立されておらず、社会の理解やサポートも不十分です。そこで私たちは、**遺伝性骨・軟部腫瘍の専門外来**を開設することにしました。

神経線維腫症1型



【遺伝性骨・軟部腫瘍外来の開設】

遺伝性骨・軟部腫瘍の方は幼少期から様々ながんが多発したり、全身の器官に様々な疾患が生じ、生活の質が低下するため、多くの診療科や、医療従事者の協力が必要となります。また、医師や看護師だけでなく、遺伝性疾患に詳しい認定遺伝カウンセラーの協力が大変重要です。

これらの問題に対処するために、岡山大学病院整形外科(尾崎敏文教授)の中田英二講師は2021年9月6日に遺伝性骨・軟部腫瘍の患者さんを専門とした外来を**全国で初めて開設**しました。

遺伝性骨・軟部腫瘍外来では、説明用紙を用いて患者さんとそのご家族に、以下の項目など、疾患に関する適切な情報を提供します。

- ・ 遺伝性骨・軟部腫瘍の特徴と診断
- ・ がん以外の疾患の種類と発生する時期
- ・ 社会的な支援(医療費助成制度)
- ・ がんが発生する時期、部位や症状
- ・ 定期的に受けるべき検査



PRESS RELEASE

遺伝カウンセリングでは、遺伝に関わる悩みや不安、疑問などを持たれている方々に、まず科学的根拠に基づく正確な医学的情報を分かりやすくお伝えし、理解していただけるように取り組んでいます。また、遺伝カウンセリングを通じて家族全体の健康管理につなげることを目標としています。

診療は、骨・軟部腫瘍に精通した日本整形外科認定骨・軟部腫瘍医（中田英二講師）と、認定遺伝カウンセラー（臨床遺伝子診療科:二川摩周）、看護師が行います。また、患者さんの症状に応じて、脳神経外科や眼科、小児神経科など複数の診療科が連携して診療を行います。

【受診された患者さんの声】

すでに受診された患者さんからは、「紙面による説明で分かりやすかった」「これまで聞けなかった病気に関することや医療費助成制度が知ることができた」などの評価をいただいています。

今後も引き続き患者さんおよびご家族への診療および啓発活動を続けていく予定です。本外来により、がんの早期診断・早期治療ができれば、遺伝性骨・軟部腫瘍の方々の生活の質や予後の改善に結びつく可能性があります。



患者さんと家族に情報提供と
カウンセリングを行い、健康
管理につなげます。



多数の診療科が連携して
診療を行います

<社会的な意義>

全国でも遺伝性骨・軟部腫瘍の体系的な診療を行っている報告はなく、岡山大学病院は全国に先駆けて取り組みを始めました。この専門外来により、遺伝性骨・軟部腫瘍の患者さんとその家族に対する適切な情報提供や血縁者への遺伝カウンセリングを通じ家族全体の健康管理につなげることができる機会が増えると考えています。

最近、ゲノム医療が進んでおり、個人の遺伝情報を知ることできるようになりました。遺伝性疾患というと、世間には偏見がありますが、決して特殊なことではありません。この専門外来を通じて、世間の多くの方の遺伝性疾患に関する理解を促すことで、よりよい社会の実現に貢献できると考えています。

また、岡山大学は最近 SDGs に取り組んでいます。骨・軟部腫瘍外来は、目標 3.4 (2030 年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて 3 分の 1 減少させ、精神保健および福祉を促進する)に合致しています。今後も、がんの早期発見・早期治療を目標とし、SDGs の実現に貢献したいと考えています。



<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）運動器外傷学講座

講師 中田 英二

（電話番号）086-235-7273

（FAX）086-223-9727



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。